

科目名		特別講義 2							年度	2025
英語科目名		Special lecture-2							学期	後期
学科・学年		コンサート・イベント科 1 年次	必／選	選※	時間数	15	単位数	1	種別※	講義
担当教員		小山慶・島立麦人・森岡重樹・小峰建・吉野雄一郎・嶋田円歌			教員の実務経験		実務経験の職種			
【科目の目的】										
主体的に講義に参加し、エンタテインメント業界の知識や問題意識を 1 年生前期の学習に積極的に活かす視座を得る。講義を通じて、各自が 2 年前期に向けた今後の指針を見出すきっかけを得る。また、特別講師を招いたり、授業やイベントを開催することで、学習体験を豊かにする。										
【科目の概要】										
特別講師を招いた授業やイベントなどを開催します。										
【到達目標】										
A. 主体的に講義に参加する。 B. エンタテインメント業界の知識や問題意識を、 1 年生前期の学習の場に活かす視座を得る。 C. 講義をきっかけに各自が 2 年前期に向けた今後の自分の指針を発見する。										
【授業の注意点】										
学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視しキャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック 評価		レベル3 している			レベル2 ふつつ			レベル 1 要努力		
到達目標 A		主体的に講義に参加し 授業内発表ができる			主体的に講義に参加できる			到達目標Aについて さらなる努力が必要		
到達目標 B		エンタテインメント業界の知識や問題意識を、 1 年生前期の学習の場に活かす視座を得る			エンタテインメント業界の知識や問題意識を、説明することができる			到達目標Bについて さらなる努力が必要		
到達目標 C		講義をきっかけに各自が 2 年前期に向けた今後の自分の指針を発見する			講義をきっかけに各自が 2 年前期に向けた今後の自分について考察できる			到達目標Cについて さらなる努力が必要		
【教科書】										
プリント資料										
【参考資料】										
特になし										
【成績の評価方法・評価基準】										
評価基準はルーブリック評価に基づき、授業への参加姿勢とレポートによる。										
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。										
科目名		特別講義 2							年度	2025
英語表記		Special lecture-2							学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル					評価方法	自己評価

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった
備考 等